発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)3111㈹
印刷所　旭印刷
電話(水俣)㉓4101番

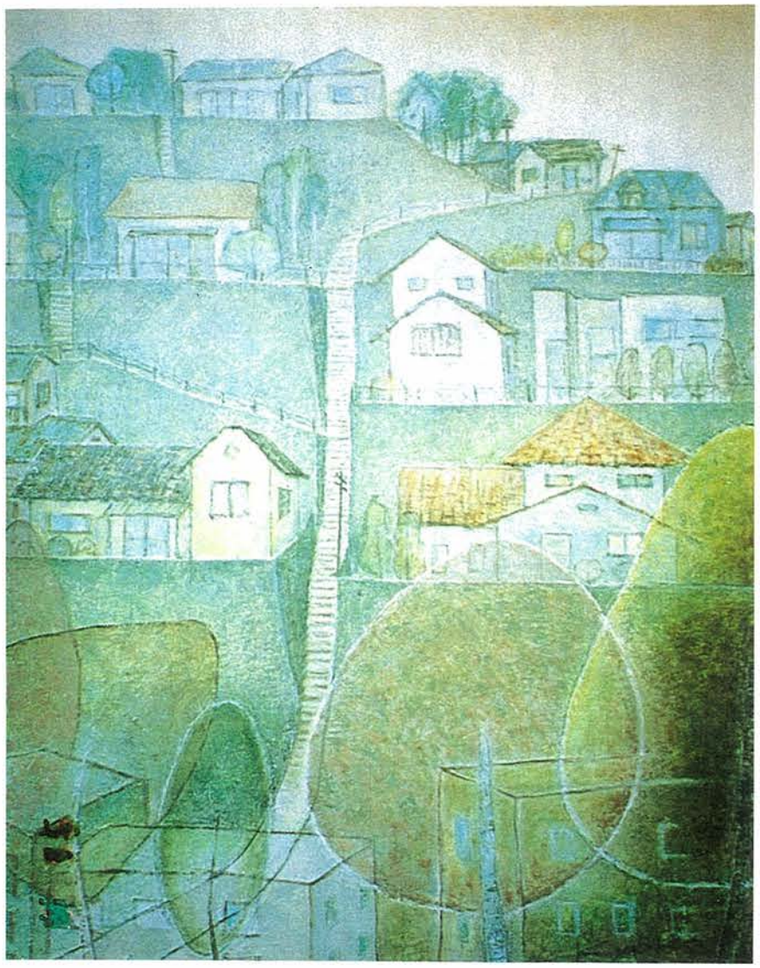
津奈木

熊日女性絵画展入賞作品

階段の家（洋画）

西川　京子

日常のさり気ない風景を切り取って、一つの心象風景画になればと願って描きました。



日常と非現実の境目で遊ぶ感覚が好きです。強烈な色使いより、淡い、やさしい色調を求めています。

（津奈木町は縁と彫刻のある町。芸術・美術を通して豊かな心を養いたい。西川町長夫人の作品が入賞されましたので紹介しました。）

一言

青年団、最近殆んど見かけることが少なくなった活字である。

昭和五十年代まで町の主な行事に婦人会、老友会とともに名を連ねていたはずですが…。

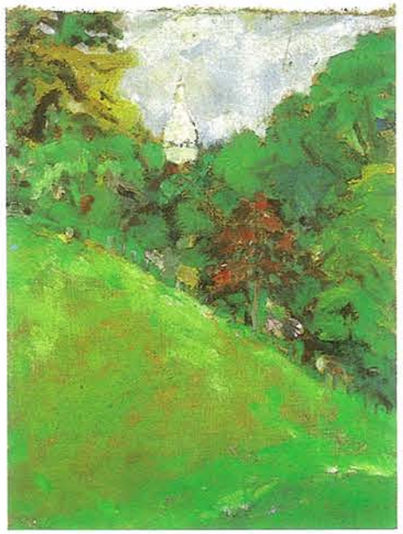
赤崎小、平国小の運動会、神社大祭の催し物全てが地区青年団によって事が進められていました。

昭和四十年代前半、活発であった活動が四十年代半ばになると若者が青年団に入らなくなり、一時消滅しかけた事がありました。しかし、三人の若者が一カ月かけて青年を説いて回り見事に復活させました。その頃、「青年団ち、なんばすっと」「奉仕団体たい」。当時青年団について耳にした言葉です。現在では「空缶拾い」、「除草作業」等といったものが主流のように聞こえるが、催物に参加する事も立派な奉仕になるのでは…。

ダンスパーティー、炭坑用坑木運搬、祭り等の催し物等々、団員一丸となって資金集めをしたものです。各支部の旅行、青年の家での研修。勿論青年団活動をやって行くうちに恋が芽生え結婚した人も多い。

最近の若者曰く、「僕には彼女はおらんとですばい」と良く耳にする。男女が集う機会が少なくなったのも事実？。「青年団」…!!どうにかできないものかと思うこの頃である。

（K、H）



油彩「サクレ公園」1964

境野　一之　作

目にしみる緑
はるかにのぞむ白い寺院
競い合って輝きを増す
かがやきをます

庁舎美術館（61）

童話発表会

津小1年 吉沢奈央ちゃん県大会へ

吉沢奈央ちゃん、津奈木小学校一年生が八月四日、田浦町で開催された熊本県童話発表会芦北、水俣地方大会でみごと郡市代表に選ばれました。

当日は、芦北、水俣管内の小学校一年生から六年生まで、低学年六名、中学年六名、高学年六名の十八名が一生懸命童話を発表しました。

県大会は、低・中・高の中から二名が選ばれますが、その中に町・郡の大会に始めて参加した吉沢奈央ちゃんが代表として選ばれました。

なお、県大会は十一月二八日、不知火町の中央公民館で開催されます。

つわぶきセミナー現地研修会（人吉へ）

去る八月二十三日、つわぶきセミナーの現地見学研修で人吉の歴史資料館、大村横穴群（国指定）青井神社、焼酎蔵、永国寺、人吉民芸村等の見学研修をしました。

特に歴史資料館ではユーモアをとりいれたていねいな説明に、皆さんしぜんと誘導されておりました。また、バスの中や昼食時には色々の話しがでて楽しそうでした。

参加者は二十二名でしたが意義ある研修会だったと思います。

町民体育祭　真夏の熱戦

野球・競舟大会

去る八月十三日から十五日まで、町民体育祭野球大会、競舟大会が開催されました。

第四十九回野球大会は十三・十四日A・Cコートにわかれて二〇地区が参加。

内野地区から優勝旗が返還され平国下の松本さんが選手宣誓を行なった。

西川町長の始球式後Aコートの第一試合は川内・内野で始まり二対一で内野が二回戦へ進み、Cコートは染竹・平国上が対戦、三対三で時間切れ、ノーアウト満塁で競技し、一対二で平国上が二回戦へ進んだ。

どの試合も熱戦で好プレー、珍プレーの続出、中学生や高校生も大人にまじって一生懸命プレーをしていた。

なお、中学校の野球部員がボールひろいやスコアーボードの得点係、グラウンド整備等の応援をしてくれました。

決勝戦は平国下と倉谷が対戦し五対三で平国下が優勝しました。

競舟大会は、十五日干拓堤防で行なわれた。

ご存じのとおり、干拓はスタートからゴールまでよく見ることができ、選手の熱気がつたわってくるほどで、観衆も地区の前を舟が通過するごとに大声をだして応援しておられました。

◎野球優勝・平国下、二位・倉谷、三位・平国上、上下門

◎競舟優勝・大泊、二位・平国上、三位・日当

公民館モデル地区指定

◎公民館活動の活性化を!!

社会教育活動を推進しながら生涯学習の実をあげ、隣り近所の付き合いを深め楽しい心のかよい合った地区を作りましょう。

町では、公民館活動を通してこのような住み良い環境作りを促進するため、本年度もモデル公民館を二館指定致しました。町中公民館と赤崎公民館です。

また、他の全公民館には今迄いろいろ地区で実際に実践している行事や、話し合い活動、研修会等、年間計画書を作成し実践していただく様にしました。

モデル公民館では、年一回特に時間を取って、一つの行事を他の地区公民館長さん運営委員さん方を招待し、皆さんが一緒に行事に参加することも行なっています。

色々な行事を通じて連帯感を養い、お互い助け合う風潮を高め、ここに住んでいて良かった、楽しく毎日を送ることが出来ると感じる活動にしたいものです。

町教育行政懇談会より

第一回津奈木町教育行政懇談会が七月十七日、町役場で開催され町長以下三役、町議会教育厚生常任委員、教育委員、学校側から校長・教頭とPTA役員等三十四名が出席して教育上の諸問題を熱心に討議された。

初めに、町長から行政側として津奈木町の教育の現況を把握し、町全体の教育水準を高めたい旨の講話があり、教育長からは本町の教育の実態と今後の教育方針が述べられた。

学校側からは、津小の学力問題や校庭と体育館駐車場の整備、赤崎小と平国小からは校舎補修と児童減少による学級減の問題、津中は武道館建設等が要望された。

特に児童減少は深刻な問題であり赤崎小は復式学級だけになり、教育活動に支障が生じてくる。

PTA役員からは、人口減少対策として公営住宅の建設や通学道路の安全確保、児童公園の設立、校内に公衆電話の設置、生徒の卒業後の進路状況追跡調査等が要請された。また、PTA自身の問題として、しつけやPTA活動のあり方について真剣に討議された。さらに、町P連として挨拶運動の推進も確認された。

最後に教育委員会のまとめで、人口減少対策や教育環境の整備は行政にお願いし、学力やしつけ等の問題は学校や家庭と連携してあたり、津奈木町の教育を振興していくことを確認するとともに今後も開催することにした。(松原昭記)

地区公民館活動『丸岡団地』

丸岡自治区では、今年初めての子供会による、スイカ割り大会を行いました。七月に地区公民館活動の計画になっていましたが、できるだけ多くの子供達が参加できる日を選び八月四日㈮に変更。暑い太陽が西に傾いた午後六時から宿舎の中庭に六メートルと四メートルのラインを引き、小学生高学年は六メートル、低学年及び幼児は四メートルから、目隠しをして高学年は三回廻り低学年以下は一回廻り棒を持ってスタートラインにつく。いよいよ開始、一人ずつで自分の番になると緊張して真剣そのもの、目が廻ったのか変な方向に行ったりして周辺の子供達も自分がやっているみたいで気が気ではありません。もっと右だ左だそこだと誘導の声も高まり力一杯棒を振り降すとあまり力の入れすぎか当りが外れ大笑い。でも三、四人すんだ後は緊張していた気持もほぐれほとんどの子供がスイカに命中させていました。割れたスイカの赤い部分がでると一切れ二切れを口にほうばる子供もいて笑いの絶えない行事でした。終った後はお母さん達から冷えたスイカをもらい腹一杯たべ夏休みの想い出をつくってくれました。子供会のお母さん達も計画に当っては集い等を開き、細かい点まで計画され、子供達への夢と楽しい想い出を残してやれたらと一生懸命でした。子供会のお母さん達本当に御苦労さんでした。(S・U記)

あけぼの学習会

四月に始まった学習会も順調に進み、皆さん熱心に受講され、講師の先生方も感心しておられました。楽しいお話しや少し難しい講義もありますが、九月からまた頑張って受講をお願いします。

平国地区あけぼの学習受講風景

熊本県少年の船に参加して

私たちは、七月二十一日に八代港を出発しました。

船の中でどんなことをするのかとってもたのしみにしていました。ペアー班や班でゲームなどをしました。

船の中での生活は、とてもたのしかったです。でも、たくさんの人が船によってしまいました。

残念だったことは、台風のため、あまみ大島にひなんしました。だから、一日おくれて、沖縄港に着いたことです。

沖縄では、戦争のことなどをたくさん知ることができました。戦争が起きたので何万人もの人がなくなっていることが分かりました。とても、いい勉強ができました。

平国の六方披露

宮里小学校では、熊本県の代表として、「おてもやん・もやい(平国の六方おどり)・ひこいち」をおどりました。

平国の六方おどりをおどって、よかったことは、みんなにみてもらったことです。がんばったことは、夜、ホテルで練習したことです。そして、きんちょうしたけれど、がんばって平国の六方おどりをおどったことです。失敗したことは、音楽をとめなかったので、少しせりふがぬけたことです。でも、わらわずに一生けんめいやりました。今度、平国の六方おどりをおどるときには、それまでに一生けんめい練習して失敗したことをよくしていきたいと思います。

そして、よかったこと、がんばったことを一つでもふやしたいです。沖縄の人たちもおどりました。もの凄くう上手でした。

発表が終わってから、宮里小学校の人たちと虫かごやブレスレットを作りました。とてもたのしかったです。宮里小学校の人たちと友達になることができました。

本当に、沖縄に行ってよかったなあと思いました。その理由は、たくさんの思い出もできたし、いろんなことも学習してきたし、たくさんの友達もできたからです。本当にたのしかったです。

そして、七月二十六日に八代港に着くことができました。

(長浜愛美・村上亜由美 記)

ここに、こんな人が……

チャレンジ精神を大切に

成田　タヲさん(桜戸)

敬老の日を迎える九月にあたり、桜戸地区の成田タヲさん(九十八才)をお訪ねした。

お会いして先ずお年をお聞きした時、自分の耳を疑ったほどお若いのに驚いた。八十八才までゲートボールも楽しまれたとのことである。今も、「足が少し痛くて……」とおっしゃる他は体調も良く毎日を快適にお過しのようだ。最近始められた大正琴を、マイペースで楽しまれているが、これも初めは他の生徒さんと一緒に、先生のもとでけいこをされていた。でも、親指に痛みがでて、今は娘さんのチエ子さんを相手に練習をされている。「荒城の月」は、楽譜なしで弾かれるそうである。

成田さんは、手芸も大好きで、これまで沢山の作品を作られている。「手まりがけ」「編み物」「木込人形」どれを取っても素晴しい出来映えだ。家に残っている作品を次から次へと出して頂き観賞する。編み物の作品では、干支に因んで作られた「うさぎ」や「さる」が、とても可愛い表情を見せてくれ会話が弾むきっかけになる。

これからも、健康に留意され、いつまでも前向きで、お元気で過ごして下さるよう願いながら、今回の取材を終えた。(澤井記)

陳情

本山　勝三

先日の熊日新聞紙上に、官官接待が必要か否かの各都道府県の意見調査の記事が掲載されていました。熊本県をはじめ、大半の都道府県が必要と認めた回答でした。

私も一市三町の市長・町長と共に八月初旬、西回り高速道早期着工完成や水俣芦北地域振興、水俣病早期解決などの陳情の為上京しました。各省庁を巡り、足が棒になる程歩き回りながら、「東京は不便な所バイ、津奈木なら隣に行くにも自動車で行けるのに、東京は隣に行くのに歩き回り、階段を上ったり下ったり、大変なところでありますな」と話しながら、又各省庁では頭を何回も何回も下げながら巡りました。

しかし、陳情先の反応といえば「あっ、そう」「解かりました」との返事ばかりで本当に理解してくれているのかと思うところもあれば、事情を理解・認識していただき、「大変ですね」と労いの言葉をかけてくれるところもあり、一喜一憂の巡りでありました。

我が町から東京へ陳情へ行くと一人十万円程の費用が掛かり、金が掛かると、その効果はどの程度まで効いたのか、気掛かりであります。そこで、大事な陳情は省庁の様子を探り伺いたいのが心情であります。

今の時代、接待となるとマスコミはうるさいし金も掛かる。懇談会として細やかな昼食会を、懇親会と称して夕食会を行う。対等に話しあえる、又希望を伝える唯一の場でもあるのです。どの都道府県もいろんな手を模索しながら陳情を繰り返しているのが現実です。町長に至っては年に何回も、いや何十回も陳情を繰り返し、大変なことであるとつくづく思うが、西川町長が帰りに「同じ方法の陳情ではいけない。何か効果のある方法を取らなければ、金ばかりが掛かり、大変だ。」と申されました。

そこで有利な方法というと、官官接待ならぬ懇親会であります。町勢発展のため、地域振興のために陳情が必要ならば、官官接待も必要であると、改めてつくづくと思ったわけであります。

皆様が官官接待という言葉のイメージをどう思われているのか知りませんが、現実は厳しいことを理解され、各都道府県が必要と認めたことを理解していただけますならば、幸いと思います。

最後に希望のもてる町作りに、御協力を賜らんことをお願い申し上げます。

わが町の文化財・石造物(7)

千代塚の戦没者慰霊碑に向って左方に、松本敏先生の「詠進歌」歌碑が建立されている。

縦177cm、横185cm

お題「若草」　昭和二十五年

阿蘇が峰の千里が浜の朝明けの若草原は海の如しも、富士子

お題「窓」　昭和二十四年

縄ないの季節に入りて我が部落公民館の窓は夜々に明るし

詠進歌は、毎年二万数千首程の中から、十首が選ばれ「歌会始の儀」に、両陛下の御前において朗詠される名誉ある詠歌である。

古来、我が町津奈木には数多くの人達が歌に親しみ「著者」、六車茂一郎翁「津奈木郷土誌」郷土の花に、孝女千代を偲ぶ詠歌四十数首があることは喜ばしいことであり、

詠進歌「歌碑」の前に立つとき碑の偉大さと郷土の誇りに叩頭の念を一そう強くするものである。

佐々木　緑

短歌

ふり返る大雪山の残雪は連らなりて白く輝きわたる　西滋子

幾十年生きつぎにし竹ならむ梅林の中細き芽生えぬ　寺本ツルヲ

ときとして鉢と刀とを聞き違う娘は鉢と又告げにきぬ　柳迫いづも

晩年の母の立居のゆるゆると齢傾き母甦り来る　白浜美和子

遠くよりスーパーのあかり夜を徹し吾が枕辺のガラス戸に映ゆ　野田浦子

気にかけし田植了えれど植つぎを夫病伏し吾一人なす　福田八重子

白軸はピンクのボカシにネムの花優しく夢をいただき咲けり　宮崎優

今月の秀歌

層雲峡に友と降り立ち樹間より幾十丈かの滝うち仰ぐ　西滋子

肥後狂句

秋の空　いよいよ来たかダイエット
どもこも　せからしゅてたまらんな　神無月

秋の空　団子に唐芋運動会
どもこも　家のローンに教育費　達　生

秋の空　男心は手におえん
どもこも　税金にはだれとります　万　葉

(次笠)　菊花展　大嫌い
一笠二句ずつ　十月十三日までつなぎ文化センターへ